

林業研究・技術開発推進ブロック会議育種分科会と特定母樹等普及促進会議を開催

林野庁、森林総合研究所共催で、林業研究・技術開発推進ブロック会議育種分科会を開催しました。この会議は毎年9～10月に開催され、林野庁、林木育種センター、都道府県等の連携による林木育種の推進を目的として、北海道、東北、関東・中部、近畿・中国・四国、九州の5ブロックで行われました。林木育種センターからは4月から第4期中長期計画が始まり、研究開発成果の最大化に向けた取組としてハブ機能や橋渡し機能の強化について取り組んでいくこと、また花粉症対策品種の開発推進についてより一層取り組んでいくことを説明しました。

さらに、この会議と併せて特定母樹等普及促進会議を開催し、特定母樹の普及等について議論を行いました。なお、関東・中部ブロックについては7月に長野県佐久市他で開催し、主にカラマツの普及に対する取り組み状況について各機関から情報提供が行われています。

関東・中部ブロックでは、育種分科会の前日に現地検討が開催され、東京都農林総合研究センターにおいてスギ及びヒノキ少花粉ミニチュア採種園(写真1)等を視察しました。



写真1 関東・中部ブロックの現地検討の様子
ヒノキ少花粉ミニチュア採種園を視察

表紙タイトル写真は、12月8日に行われた林木育種連携ネットワーク研修の様子。コンテナ苗の育苗技術について研修を行い、多くの方に御参加いただきました。

※紙へリサイクル可



一般公開「親林の集い」を開催

10月22日(土)に、林木育種センターの一般公開「第21回親林の集い」を開催し、約900名と多くの方々にご来場いただきました。



写真1 芝生で行った「クップ」

子ども達に人気の森の迷路やクイズラリーの他、今回初めてクップ(木片)にカストピンナ(木棒)を投げて倒し、先に全てのクップを倒したチームを勝ちとするスウェーデン由来のスポーツである「クップ」(写真1)と、林野庁広報室の平田美紗子さんにご来場いただき広報林野「お山ん画」のイラスト展(写真2)を行い、多くの方に参加いただきました。

「親林の集い」は、来年も同時期に開催する予定ですので、是非ご来場下さい。



写真2 広報林野「お山ん画」イラスト展

(企画部 育種企画課 小野 雅子)

林木育種情報 No. 23

平成29年1月18日発行

国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL : 0294-39-7000(代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>